

数字で見る消防団 (平成30年4月1日現在)

団員数

520人

定員629人

分団数

5方面隊
38分団

年齢構成

18~20歳 約01%

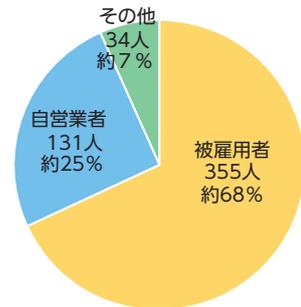
21~30歳 約17%

31~40歳 約50%

41~50歳 約27%

51歳以上 約05%

職業構成



定期点検と地域の警戒

突然の災害に備えるため、消防用具の点検は欠かせません。また、火災予防などを啓発するために、地域の警戒を行っています。



女性団員も活躍中

23人の女性消防団員が活動している消防団女性部。救急講習で小中学校を訪れたり、消防団が行う行事に参加し、火災予防や地域防災に関する広報・啓発活動を行っています。



消防団員募集中 皆さんの入団をお待ちしています

消防団員になるには

18歳以上で、市内に居住・勤務・通学する健康な方。特別な資格は必要ありません。

消防団員の待遇や補償

出場手当などの支給、制服の支給、消防団活動中負傷した場合の公務災害補償など。

※応募方法など、詳しくはホームページをご覧ください。▶



平成31年4月1日より

機能別消防団員制度導入

機能別消防団員とはそれぞれの能力やメリットを活かしながら、時間の許す範囲で特定の活動のみに参加する制度です。新たに導入するのは次の2隊です。

OB消防隊

消防団を引退した方が、その豊富な経験を活かして、消防団の活動に参加します。

ラッパ隊

分団または女性消防団に属さず、ラッパ吹奏活動のみでも入団可能になります。

地域の安心と安全を守る 土浦市消防団の活動

団消防本部警防救急課(☎ 821-0119)

消防団は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、住民の有志により組織された消防機関です。

消防団員はそれぞれの職を持つかわら、災害が発生した場合には、いち早く現場に駆けつけ、消火活動や風水害などによる災害の拡大防止のための活動を

行っています。また、平常時も訓練のほか、応急手当の普及指導、防火指導、特別警戒、広報活動などに従事し、地域における消防力・防災力の向上において重要な役割を担っています。

今回は地域の安心と安全を守るために活動している消防団について紹介します。



災害に対応するための 様々な訓練

消防団は、あらゆる災害に対応するため、日々訓練を行っています。その内容は、林野火災に対応するための「林野火災中継訓練」、水防工法の手順を確認し水害に備える「水防訓練」、地域住民と一緒に防災に対する意識を高める「地域防災訓練」など様々です。

また、分団ごとに出場する「消防ポンプ操法大会」が毎年行われ、放水までの動作の正確性やスピード、チームワークなどを競うとともに、日頃の訓練の成果を披露する場となっています。



「地域に貢献したい」

その気持ちが消防団の原動力です。

私が消防団に入団したのは、大学を卒業した23歳の時です。それから40年間、消防団員として災害時に出勤したり、地元行事の運営や進行を行ったりしながら地域のために活動して来ました。現場で感謝されたり、お礼の言葉をいただくと、本

当に嬉しく、やりがいを感じます。

また、職種を越えた仲間ができるというのも消防団の魅力の一つではないでしょうか。

地域に貢献したい、安全を守りたいという気持ちを持った方、入団をお待ちしています。



土浦市消防団 団長
川崎 隆義 さん